

# KONAN サーティフィケート 2023年度 認定学生

読書習慣を基盤とし、探求心と情報探索力に磨きをかける  
上級の認定を目指し、表現する力・企画を実現する力

## ライブラリ サーティフィケート



1 級

佐 伯 菜奈実 (文学部)



2 級

木 下 裕 介 (経営学部)

詫 間 陽 生 (経済学部)



3 級

春 山 若 葉 (知能情報学部)

玉 井 萌菜弥 (経営学部)

荒 川 充 希 (知能情報学部)

江 口 龍 (知能情報学部)

大 氏 款 斗 (知能情報学部)

岡 航 碩 (知能情報学部)

川 上 翔 大 (知能情報学部)

阪 本 英 駿 (知能情報学部)

前 田 斗 和 (知能情報学部)

村 井 武 人 (知能情報学部)

岩 瀬 冬 音 (文学部)

船 越 章 (マネジメント創造学部)

他4名

今年度ライブラリサーティフィケートでは、合計105人の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、19人から認定のための申請を受け付けました。

ライブラリサーティフィケートでは、読書活動を中心に、書籍に関する幅広い活動をとおして、読書習慣及び情報探索力・表現力・行動力・企画力などを身につけた学生たちを評価し、認定しています。

今年度各級の要件を満たした19名の学生たちは、それぞれ授業や就職活動で多忙な中、エントリーしたときから真摯にライブラリ分野の活動に取り組んできました。継続的に読書を続け、さらに読書記録や書評を書くことでアウトプットし、書の知識を取り込みながら書く力も伸ばすことができたのではないかと思います。また、図書館が主催するガイダンスや様々なボランティアにも参加、積極的な活動を続けてきました。そして、1級の認定学生については、自由な発想で自分のやりたい企画を立案、実現しました。エントリー時より大きく成長した皆さんが、今後もこの経験を活かして活躍してくれるものと信じます。図書館は皆さんを応援しております。

(図書館)

# KONAN サーティフィケート 2023年度 認定学生

国際交流プログラムをとおして、国際的な文化の異なりを理解し、語学  
力・コミュニケーション能力、「グローバル人材」としての総合力

## グローバル サーティフィケート



### 1級

田中 愛 莉 (マネジメント創造学部)	妹尾 歩 香 (文学部)	武部 陽 菜 (文学部)	森下 紗 彩 (文学部)
田中 萌 々 (マネジメント創造学部)	茨木 颯 介 (経済学部)	新木 桜 佳 (法学部)	五井 萌菜弥 (経営学部)
宮脇 香 子 (マネジメント創造学部)	今西 毅 (経営学部)	喜多 葵 (経営学部)	木村 晨 一 (知能情報学部)
塩谷 瑠 緋 (マネジメント創造学部)	鷲尾 悠 月 (文学部)	中尾 里 桜 (マネジメント創造学部)	

ジョリー サンス ステラ (文学部)



### 2級

合澤 月 雪 (文学部)	荘司 真 子 (経営学部)	堂馬 美 帆 (文学部)	三井 彩 樺 (文学部)
坂野 百 合 (経済学部)	吉井 遇 瑠 (法学部)		



### 3級

駒井 陽 南 (法学部)	河崎 新之助 (文学部)	安守 優 衣 (文学部)	中島 穂音花 (文学部)
大橋 雄 真 (法学部)	木村 晃 生 (文学部)	谷口 侑 星 (経済学部)	川口 琢 斗 (経済学部)
古賀 夏 希 (経営学部)			他1名

今年度グローバルサーティフィケートでは、合計238人の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、32人から認定のための申請を受け付けました。グローバルサーティフィケートでは、本学の国際交流プログラムをとおして、国際的な文化の異なりを理解し、語学力・コミュニケーション能力を習得したうえで、「グローバル人材」としての総合力などを身につけた学生たちを評価し、認定しています。

2023年度は、新型コロナウイルスの影響により受入れが止まっていたShort-term Programを再開しました。これを受け、Year-in-Japan Programや夏期日本語集中講座だけでなく、Short-term Programで来日した留学生と甲南生との交流も活発に行われました。海外への留学プログラムについては、短期留学体験型集中科目「エアスタディーズ」を5コース開講したことで、派遣学生数が増加しました。また、KONAN Language LOFTを利用して語学力の向上に取り組んだ学生も多く、年間利用者は14,192人となりました。(グローバルゾーン全体の利用者数は17,541名)

特に1級に認定されたみなさんは、渡航型の留学プログラムによる認定だけでなく、海外渡航をしなかった学生のみなさんも、国内での積極的な活動やオンライン留学等により見事、1級の申請要件を満たされました。それぞれに合った「FITなリユース」を見つけて取り組まれた成果だと思います。1級認定、おめでとうございます。

また、2級・3級に申請されたみなさんの中には、グローバルゾーンで行われる「LOFTの英語アクティビティ」や、学内外のゲストスピーカーから話を聞く「グローバルイベント」、不要となったメガネの回収を通じて国際協力に取り組む「メガネリサイクルプロジェクト」等の活動実績をもとに、低年次からサーティフィケート認定された方がたくさんいらっしゃいます。ぜひ、今回のサーティフィケート認定をさらなる活動のきっかけにいただき、次年度以降、より上位の級に挑戦してください。国際交流センターではこれからも、みなさんの国際交流・留学の活動をサポートしていきます。

# KONAN サーティフィケート 2023年度 認定学生

意欲的にボランティア・地域連携プロジェクトに取り組み、  
卓越した行動力と課題解決力及び企画力

## ボランティア サーティフィケート



2級

下山 翔 矢 (経営学部)

森川 遥 菜 (文学部)

島村 大 地 (フロンティアサイエンス学部)



3級

相生 晶 (文学部)

石井 竜 也 (経済学部)

松元 麗 衣 (文学部)

村川 真 柚 (文学部)

佐々木 麻 那 (文学部)

來住 有 夏 (文学部)

吉井 遇 瑠 (法学部)

大村 梓 紗 (法学部)

坂本 蒼 依 (法学部)

御手洗 由璃菜 (法学部)

安部 栞 菜 (経営学部)

松崎 風 音 (経営学部)

他1名

今年度ボランティアサーティフィケートでは、合計184人の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、16人から認定のための申請を受け付けました。

ボランティアサーティフィケートでは、ボランティアや地域連携において必要となる知識や探究心、情報発信力、企画力、課題の発見力や解決力などを身につけた学生たちを評価し、認定しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、ボランティア募集を中止していた地域団体や自治体なども動き出している様子が見受けられました。福祉系のボランティアや、神戸ルミナリエの募金活動などが4年ぶりに復活したことにより、認定者の皆さんは昨年度までよりも幅広いボランティアに参加しされている姿や、単発ではなく継続的に取り組む方も多く見受けられました。

中には、地域と学生の希薄化に着眼し、地域の一体感をより一層高めていきたいという思いから、自ら地域貢献活動を2か月前から企画し、実施するという学生もいました。

ボランティアサーティフィケートで求めている「ボランティアや地域活動に継続的に取り組む力を持つとともに、自分で地域の課題を発見し、その解決のために主体的に活動できる力」を認定者の皆様は確実に自分の力として身につけていると感じます。

皆さん一人ひとりの取り組み・熱量が、周囲に伝播し、新たな活動仲間につながることを期待しています。

以下、活動例です。

- ・地域と繋がる活動助成金プロジェクト
- ・関西湾岸SDGsチャレンジ
- ・とっとりキャリア教育学生プロジェクト
- ・ぼうさい授業
- ・えん罪救済プロジェクト (IPJ)
- ・メガネリサイクルプロジェクト
- ・地域連携センター学生スタッフ (なんティア)
- ・ユースボランティアPOPP0
- ・神戸ルミナリエの募金活動 等

(地域連携センター)

# KONAN サーティフィケート 2023年度 認定学生

スポーツ・健康に関する知識を深め、自己の健康管理に関する習慣をもつとともに、リーダーシップ、スポーツマネジメント、健康管理等の能力

## スポーツ サーティフィケート



### 1 級

上 村 優以花 (経済学部)                      伊 井 優 華 (法学部)



### 2 級

相 良 拓 摩 (文学部)	有 元 望 咲 (経済学部)	青 山 華 依 (経営学部)
國 本 美 柚 (経営学部)	塩 谷 瑠 緋 (マネジメント創造学部)	下 陸 直 晃 (経済学部)
奥 野 由 萌 (経営学部)	三 宅 舞 (経営学部)	伊 原 ころこ (経営学部)
岡 根 和 奏 (経営学部)	林 七 実 (知能情報学部)	立 石 真 一 (経済学部)



### 3 級

小 泉 千 佳 (文学部)	薄 井 陸 帆 (経営学部)	尾 中 凜 音 (経営学部)	多 紀 龍 志 (理工学部)	後 藤 蓮 (理工学部)
小 仲 美 咲 (文学部)	黒 田 銀 帆 (経済学部)	南 雲 大 輝 (経済学部)	伊 藤 勇 喜 (法学部)	木 村 亮 介 (法学部)
瀬 河 稜 央 (法学部)	三 好 難 (法学部)	鈴 木 波 輝 (経営学部)	田 代 求 道 (経営学部)	木 笹 倉 千 春 (理工学部)
木 村 晃 生 (文学部)	岡 田 結 愛 (文学部)	岡 野 弥 幸 (文学部)	下 永 吉 将 利 (経済学部)	川 畑 優 斗 (経済学部)
山 下 和 笑 (法学部)	根 門 良 太 (法学部)	三 谷 起 輝 (法学部)	丹 生 幹 大 (法学部)	柏 谷 星 太 朗 (法学部)
二 宮 維 香 (経営学部)	渡 邊 拓 実 (経営学部)	伊 勢 田 脩 登 (経営学部)	湯 朝 未 桜 (経営学部)	永 井 雄 斗 (理工学部)
窓 場 翔 太 (知能情報学部)	安 原 冬 翔 (知能情報学部)	長 井 凜 (文学部)	藏 重 み う (文学部)	宮 武 勇 斗 (文学部)
入 江 美 夢 (文学部)	徳 本 航 己 (文学部)	井 田 昌 紀 (文学部)	本 家 利 基 (経済学部)	塩 見 茉 央 (経済学部)
板 谷 優 佑 (経済学部)	吉 田 琉 翔 (経済学部)	小 野 心 麗 (経済学部)	大 泉 帆 乃 奏 (法学部)	三 浦 麻 友 子 (法学部)
田 井 彩 晴 (法学部)	植 村 翔 太 (法学部)	保 科 一 葉 (法学部)	藤 原 亮 欽 (法学部)	嶋 川 大 斗 (法学部)
小 松 このみ (経営学部)	英 賀 咲 奈 (経営学部)	去 来 川 太 智 (経営学部)	納 村 琉 愛 (経営学部)	麻 生 妃 奈 乃 (経営学部)
小 津 田 美 夕 (経営学部)	逸 見 泰 雅 (経営学部)	丸 山 純 平 (経営学部)	岩 永 彩 萌 (経営学部)	木 崎 萌 菜 (経営学部)
安 部 菜 菜 (経営学部)	三 澤 百 佳 (経営学部)	竹 林 悠 希 (経営学部)	大 野 珠 夢 佳 (経営学部)	谷 上 友 哉 (理工学部)
池 田 麻 莉 子 (理工学部)	前 田 理 櫻 (マネジメント創造学部)		柏 隼 樹 (フロンティアサイエンス学部)	他 5 名

今年度スポーツサーティフィケートでは、合計219人の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、87人から認定のための申請を受け付けました。

スポーツサーティフィケートでは、さまざまなスポーツ活動(体育会、学内イベント・プログラムへの参加等)をとおして、リーダーシップ、スポーツマネジメント、健康管理能力などを身につけた学生たちを評価し、認定しています。

スポーツサーティフィケート授与者として認められた学生達は、競技スポーツ、健康スポーツ、レクリエーションスポーツをはじめさまざまな領域でのスポーツ活動や自己の健康のための運動に、真剣に取り組みました。

学内でのスポーツイベント「エアバドミントン」を企画し実行した学生、健康・体力増進のために積極的にスポーツや運動に取り組んだ学生、地域でのスポーツボランティアを行った学生もいました。

今年度は体育会所属学生による申請者数が急増しました。引き続きより多くの学生が本サーティフィケート活動へ挑戦し、認定されるよう広報活動やコンテンツの充実にも力を入れて取り組んでいきたいと思っております。

そして、次年度以降も真面目にスポーツや運動に取り組む学生を多角的に評価して、その功績を称えたいと思っております。

(スポーツ・健康科学教育研究センター)

# KONAN サーティフィケート 2023年度 認定学生

様々な学習サポートと自己の能力向上に取り組み、  
課題解決力及びリーダーシップを身につける

## ラーニングサポート サーティフィケート



### 1 級

増田 悠花 (経済学部)	馬場 一瑛 (経済学部)	片山 拓哉 (法学部)
児島 翔太 (法学部)	佐治 文梨 (経営学部)	萩尾 紡希 (経営学部)



### 2 級

大本 涼平 (法学部)	中岡 真唯 (法学部)	鷹見 建吾 (経済学部)
竹内 遥 (経済学部)	吉田 雄斗 (法学部)	



### 3 級

新木 桜佳 (法学部)	仮屋 拓斗 (フロンティアサイエンス学部)	栗田 朋の花 (経済学部)
清水川 萌美 (経営学部)	昌川 愛 (経営学部)	加古 絵美莉 (文学部)
岡田 優花 (文学部)	合原 珠希 (経済学部)	黒田 大貴 (経済学部)
井上 泰地 (経済学部)	三野 聡一朗 (経済学部)	須原 快翔 (経済学部)
寺尾 泰晟 (フロンティアサイエンス研究科)		他2名

今年度ラーニングサポートサーティフィケートでは、合計45（1月末時点）人の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、27人から認定のための申請を受け付けました。ラーニングサポートサーティフィケートでは、学内にある学生によるさまざまな学習サポート活動に率先して挑戦し、また自己の能力向上に継続的に取り組むことでラーニングサポーターとして成熟し、成長した学生たちを評価し、認定しています。

今年度は、学生の自主的な組織「ラーニングサポートチーム(LST)」の活動が従来以上に活発となりました。ラーニング・アシスタント(LA)に代表されるような既存の取り組み内での活動だけではなく、学生自身がラーニングサポート活動における課題を発見し、解決のための施策を検討・実施するという活動が増えました。さらには、LSTでの企画は、従来学内での企画がほとんどでしたが、今年度は他大学と共同で全国の学生を対象としたイベントの企画・実施を行うなど、学外にも活動の幅を広げることができました。

認定学生たちは、このような学習支援活動を通じてサポート能力を実践的に向上してきた中で、「教えることで学ぶ(Teaching is learning)」として学びが深まり、コミュニケーション能力や、挑み続ける主体的な活動力、発信力も育まれました。

(教育学習支援センター)

## KONAN サーティフィケート 2023年度 認定学生

早期から自身のキャリアを考え、行動し、様々な活動を通して得た  
キャリア創成力、大学生としてのキャリア形成の土台

### キャリアデザイン サーティフィケート



2 級

認定者 1 名



3 級

後 藤 遥 人 (文学部)

大 本 涼 平 (法学部)

ト 田 真 輝 (経営学部)

塩 谷 瑠 緋 (マネジメント創造学部) 松 崎 風 音 (経営学部)

今年度キャリアデザインサーティフィケートでは、合計81人の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、6人から認定のための申請を受け付けました。

キャリアデザインサーティフィケートでは、早期から自身のキャリアを考え、行動し、自身のキャリアデザインに力を入れて取り組んだことで、大学生としてのキャリア形成の土台ができた学生たちを評価し、認定しています。

今年度の申請学生はキャリアセンター主催のイベントへの参加はもちろん、ベーシック・キャリアデザインやプラクティカル・キャリアデザインなどの修得学生が多く、低年次から、自身の将来について主体的に考えました。また、体育会やラーニングアシスタント等の活動に精力的な学生が多く、大学時代の活動や経験を通して、社会で必要とされる力を身につけ、進路の選択肢を広げていました。4年生の申請学生の中には後輩支援の団体「OBF」に所属し、ESの展示会や模擬面接を実施し、後輩の就職相談にのるなど、就職活動支援に積極的な学生も見受けられました。

(キャリアセンター)